

計画事業番号	00290	事務事業名	スポーツアカデミー事業	担当部署	教育部社会教育課	電話	4843
--------	-------	-------	-------------	------	----------	----	------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		根拠法令等	社会教育法			
事務事業開始年度	平成18年度		個別計画等	北広島市教育基本計画 2011-2020			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章) 人と文化を育むまち	
	(第 8 節) スポーツ活動の推進	
	(施策 2) 競技スポーツの振興	
2 対象	市民	
3 目的と内容	全国、国際レベルの選手育成及び青少年の健全育成を図るため、ジュニアスポーツ選手強化事業、底辺拡大事業、指導者養成事業を実施する。	
4 実施内容 (手段)	28年度まで	ジュニアスポーツ選手強化事業のほか、各種事業を実施した。 ①選手強化事業(ジュニア野球講習会、ジュニア空手道講習会、チャレンジジュニアスクール、ジュニアバレーボール講習会) ②底辺拡大事業(ジュニアスポーツ塾、放課後スポーツ塾) ③指導者養成事業(ジュニアスポーツ学習会)
	29年度	昨年度と同様であるが、ジュニアスポーツ選手強化事業ほか、各種事業を実施する。

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度
計画	実績	計画	計画	計画
指導者及びジュニアスポーツリーダー養成の実施 スポーツ教室の実施 キッズスポーツ塾、ジュニアスポーツ塾の開催	ジュニアスポーツ選手強化事業のほか、キッズスポーツ塾等の実施	指導者及びジュニアスポーツリーダー養成の実施 スポーツ教室の実施 キッズスポーツ塾、ジュニアスポーツ塾の開催	指導者及びジュニアスポーツリーダー養成の実施 スポーツ教室の実施 キッズスポーツ塾、ジュニアスポーツ塾の開催	指導者及びジュニアスポーツリーダー養成の実施 スポーツ教室の実施 キッズスポーツ塾、ジュニアスポーツ塾の開催

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。	
1次評価	現状継続	現状継続とする。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			1,149		1,199		1,178		1,178	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		1,199		462		462	
		一般財源	1,149		0		716		716	
	① 合計	1,149		1,199		1,178		1,178		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.80	0.00	0.80	0.00	0.80	0.00	0.80	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	6,720	0	6,720	0	6,720	0	6,720	0	
総事業費①+④			7,869		7,919		7,898		7,898	

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①参加者数	人	200	300	300	300
		目標値				
		実績値	304			
	②	目標値				
	実績値					
③	目標値					
	実績値					
④	目標値					
	実績値					
成果指標	① 目標値に対する事業参加者 参加人数/目標値×100	%	100	100	100	100
		目標値				
		実績値	152			
②	【指標の定義(算式等)】	目標値				
	実績値					
③	【指標の定義(算式等)】	目標値				
	実績値					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	青少年の健全育成や競技力向上のために必要な事業であることから貢献度は大きい。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	子どもたちの成長に合わせた事業内容となっていることから、成果は上がっている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	事業参加者の満足は得られているが、事業内容の見直しなど改善の余地はある。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	事業の委託化など、実施方法など改善は行っているが、事業運営に最小限の経費で実施しており、コスト削減は困難である。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--